

流通科学大学×洲本市 「洲本市域学連携事業」 -鮎屋（あいや）の観光資源・特産品を活用した地域活性化- 中間研究発表を実施 最終発表は9月3日（土）開催

流通科学大学（神戸市西区／学長 藤井啓吾）は、2020年より兵庫県洲本市と「域学連携事業」として、地域の活性化を図る課題を解決するプロジェクトに取り組んでいます。今年度のテーマは、「鮎屋（あいや）の観光資源・特産品を活用した地域活性化」です。7月9日（土）、洲本市関係者を招き、流通科学大学生が中間研究発表会を行いました。なお、最終発表は、9月3日（土）流通科学大学にて開催いたします。

■流通科学大学×洲本市「洲本市域学連携事業」 中間研究発表 概要

日時：2022年7月9日（土）12：40～16：30

場所：流通科学大学

参加者：流通科学大学から10チーム（約40名）

講評：洲本市関係者、流通科学大学教員



<提案内容>

- ・竹を活用したキャンププラン、イベントの提案
- ・鮎屋でしかできない付加価値のあるキャンプの提案
- ・SNSによる認知拡大提案

【審査員からの講評】

- ・学びに焦点を当てたキャンプの提案は他のキャンプとの差別化が出来ていて新しい。
- ・短期的な提案ではなく、持続性のある提案を考えてほしい。

今年度は、全学部から10チーム、約40名が参加。5月14日（土）に、学生が「鮎屋（あいや）地区」を視察し、地元の関係者にヒアリング。そして、7月9日（土）に中間研究発表を開催しました。

学生の発表に対し、審査員からは、新たな視点を評価されたり、厳しいアドバイスもいただきました。これから最終の調査・研究、まとめを行い、9月に関係者出席のもとで最終発表を予定。

このプロジェクトでは、学生の視点で、地域の資源や魅力をつなぎ合わせ新しい価値を見出し、地域課題の解決につながる活動を生み出していきます。

【プロジェクト概要】

▶参加者/自治体：流通科学大学生 約40名（1～4年生）／兵庫県洲本市

▶実施期間：2022年4月～9月

4月21日（木） 学内説明会

5月14日（土） 洲本市フィールドワーク（現地視察）

6月～7月 各グループが取り組むテーマを決定し、中間研究発表に向け調査・研究

7月9日（土） 中間研究発表会（場所：流通科学大学）

7月～8月 各グループが最終研究発表に向け、調査・研究、まとめ

9月3日（土） 最終研究発表会 12:40～17:00（終了予定）（場所：流通科学大学）

※新型コロナウイルス感染症の状況によって、最終研究発表会はオンラインでの実施となる可能性があります。

